

1. Title of the device

Cable Protective Cover

2. Scope of Claims

1. A cable protective cover characterized by having identical two semi tubular members, each member having a plurality of outer flat surfaces, a longitudinally extending projection being provided at one edge, a groove is being provided at the other edge, the boundary of each adjacent pair of the flat surfaces being rounded, wherein the tubular members are arranged to face each other and press fitted to each other with respect to the longitudinal direction of the edges to form a polygonal tube.



実用新案登録願

昭和55年8月4日

特許庁長官 川原 能雄 殿

1. 考案の名称

ケーブル保護カバー

2. 考案者

フリガナ  
住所  
氏名

名古屋市港区千年三丁目1番12号  
住友軽金属工業株式会社内

中村 授

(ほか1名)

3. 実用新案登録出願人

フリガナ  
住所

東京都千代田区丸の内一丁目4番4号

フリガナ  
氏名

(名称) (227) 住友軽金属工業株式会社

代表者 小川 義男

(国籍)

4. 代理人 千 460

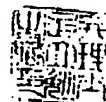
住所

名古屋市中区錦二丁目9番27号

名古屋繊維ビル8階

氏名

(8250) 弁護士 足立 勉



5. 添付書類の目録

- △ (1) 明細書 1通  
(3) 願書副本 1通

- △ (2) 図面 1通  
✓ (4) 委任状 1通

## 明 細 書

### 1 考案の名称

ケーブル保護カバー

### 2 実用新案登録請求の範囲

1 外側に複数のフラットな面を有し、一方の側縁部には長手方向に突片が、他方の側縁部には溝条が設けられ、しかも面同志の形成する角部が円味を帯びた同一形状及び大きさを有する2枚の半管状材を対向させ、両側縁部の長手方向で互いに圧入接合させ多角形管体としてなることを特徴とするケーブル保護カバー。

2 多角形管体内壁が、単線の集合体であるケーブルに外接する正六角形で、角部内径が収納される単線外径にほぼ等しい実用新案登録請求の範囲第1項記載のケーブル保護カバー。

3 突片および溝条の側壁に鋸歯状の山を設けた実用新案登録請求の範囲第1項記載のケーブル保護カバー。

### 8 考案の詳細な説明

本考案は電線ケーブル、鋼線ケーブル、光ファイ

イパーケーブル等の各種ケーブル、特に平行ケーブルに亘した保護カバーに係わるものである。

電線ケーブルを始め各種ケーブルを保護するためのカバーとしては、例えば塗料膜で被覆したもののグラウトで塗り固めたもの、プラスチックカバーで覆うものなどが従来から知られている。しかし、これらはいずれも耐用寿命が短く、比較的多額の維持費を要するばかりでなく、外観も見劣りするものである。

本考案は、上記のような従来品にみられる欠点を解消するもので、同一形状及び大きさを有する長手の2枚の半管状材を組合わせて多角形管体の構造とし、ケーブルを把持し収納するようにした外観がスマートで耐用性にもすぐれたケーブル保護カバーを提供するものである。即ち、その要旨は外側に複数のフラットな面を有し、一方の側縁部には長手方向に突片が、他方の側縁部には溝条が設けられ、しかも面同志の形成する角部が円味を帯びた同一形状及び大きさを有する2枚の半管状材を対向させ、両側縁部の長手方向で互いに圧



入接合させ多角形管体としてなることを特徴とするケーブル保護カバーである。

以下、本考案のケーブル保護カバーを図面に基づいて説明する。

第1図は本考案のケーブル保護カバーの1実施例の側面図、第2図はそれぞれ第1図に対応する縦断面図を示すものである。各図において、(1)は材質がアルミニウム、銅、チタニウム、又はこれらの合金、天然若しくは合成ゴム、硬質プラスチックからなる同一形状及び大きさの半管状材で内側は複数のフラットな面(1a)、(1b)---(1f)を備え、これらの面によって形成される角部(3a)---(3h)は図示するように単線(5)の半径 $r$ とほぼ等しい曲面をもつ。半管状材(1)の側縁部の一方には長手方向に突片(2)が設けられ、他方の側縁部には突片(2)に嵌合可能な溝条(4)が設けられている。そして半管状材(1)は両側縁部の長手方向において、互いに向い合って圧入接合され、横断面が図示するように、外側が例えば六角形の多角形の管体を形成し、単線(5)を束にしたケーブルに外接し収納するように




なっている。そのため横断面が正六角形の場合には、収納するケーブル数は7本、19本、37本、61本、91本、127本……のいずれかにすると良い。勿論芯を有していたり、径の異なる2種以上の単線を束ねる場合は前記本数とならないが、いずれにしても内壁がケーブルにぴったりと外接するものが好ましい。なお突片(2)および溝条(4)には第2図に示すように相対する鋸歯状の山を設けておくと離脱しにくくなり好ましい。また第3図の別の実施例のように半管状体(1)の内壁面周囲に単線(5)の半径 $r$ とほぼ等しい曲面をもつ薄(6)を設けておくと、単線(5)をより安定的に収納できる。

以上のべたように、本考案は同一の形状と大きさを有する2枚の半角管状材を相対向して圧入接合させ多角形の管体としたケーブル保護カバーであり、次のような利点を有し、ケーブル架設に使用して極めて便利なものである。

(1) ケーブル架設作業途中、或いは架設後その場でケーブルの保護材料として使用できる。

(2) 同一形状、大きさの半管状材を対向して圧入



接合させるだけで簡単に多角形管体が形成できる。

(8) 接合が突片と溝条で行なわれているので、2つの半管状材は離脱しにくい。

(4) 材質がアルミニウム、鉛、チタニウム、その他合金金属又は硬質プラスチック成型品よりなるので、耐蝕性、耐侯性にすぐれ、寿命が長く、屋外、地中あるいは海中における電線ケーブル束などの保護カバーとして最適である。

#### 4 図面の簡単な説明

第1図は本考案のケーブル保護カバーの実施例を示す側面図、第2図は第1図×-×線における横断面図、第3図は本考案の別の実施例を示す横断面図である。

1……半管状材                      2……突片

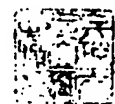
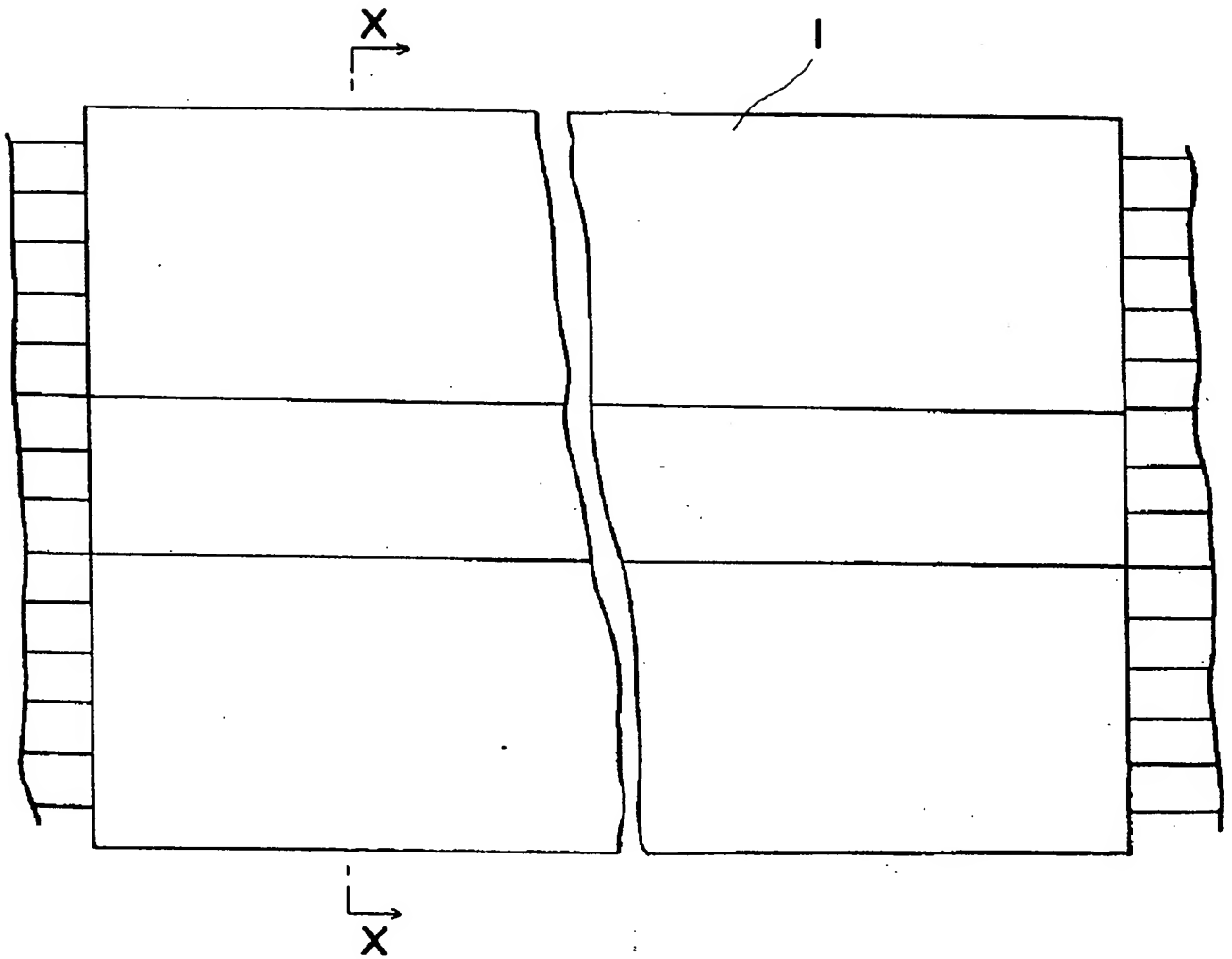
4……溝条                          5……単線

代理人 弁理士 足立 勉



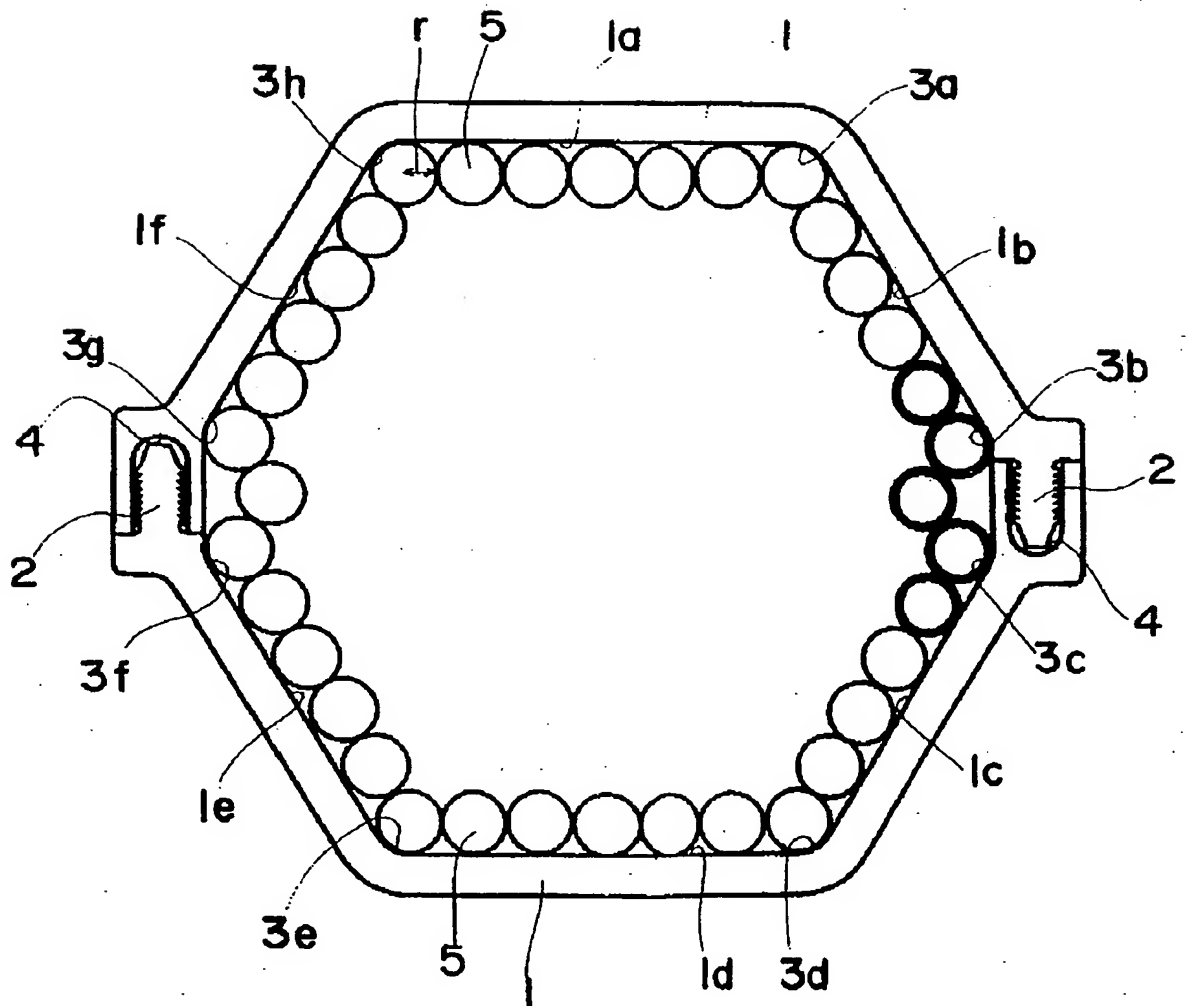
図面 1 の 1

第1区





第2図



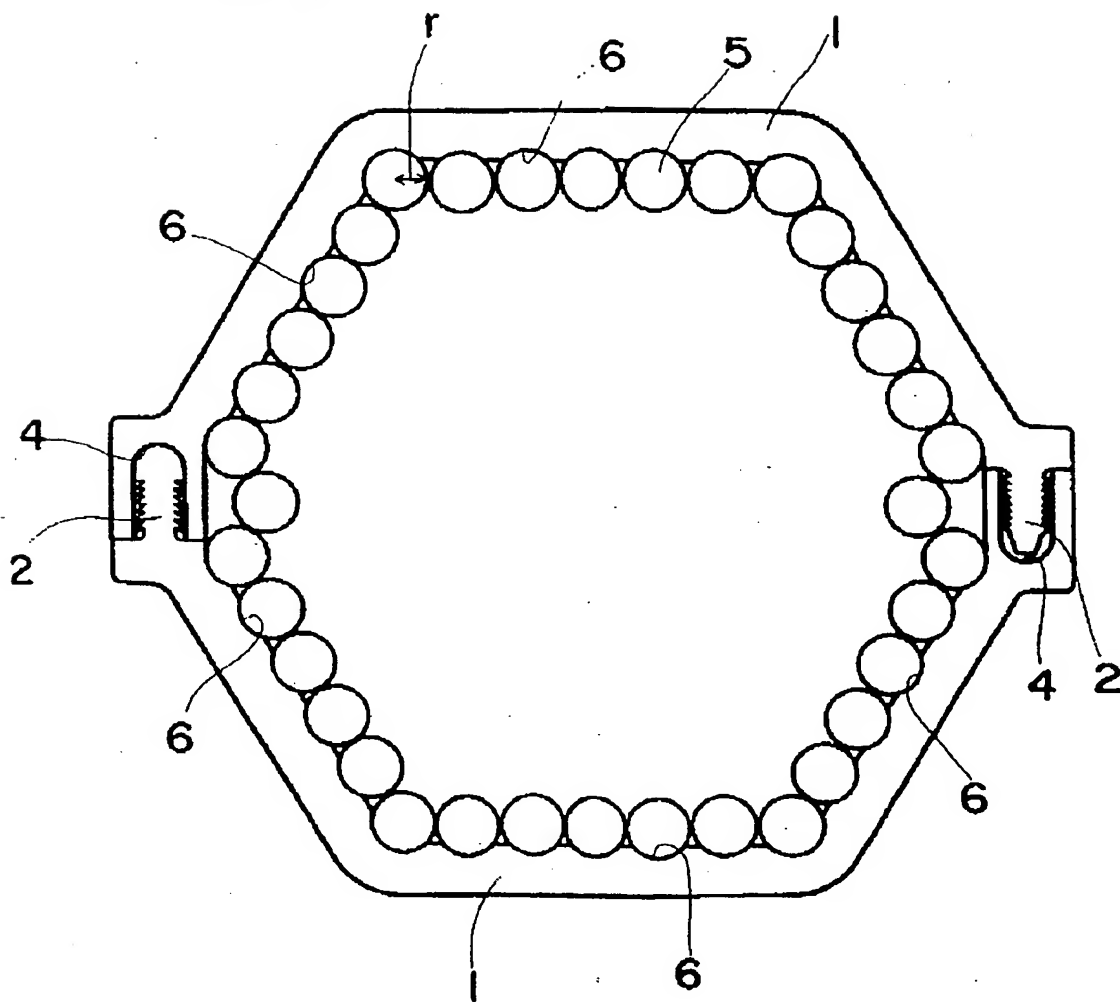
代理人 弁理士 尾立 勉



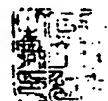
図面その3

後図面なし

第3図



代理人 弁理士 足立 勉





6. 前記以外の発明者 ✓

住 所 名古屋市港区<sup>ミナトナカ</sup>千年三丁目1番12号  
スミトモケイキン/クロサギ屋  
住友軽金属工業株式会社内

氏 名 ナシ バ ケイ ソウ  
姓 姓 波 圭 三

手 続 補 正 書

昭和57年10月31日

特許庁長官 島田 春樹 殿

1. 事件の表示

昭和55年実用新案登録願 第110471号

2. 考案の名称

ケーブル保護カバー

3. 補正をする者

事件との関係 実用新案登録出願人

フリガナ 住所 東京都千代田区丸の内一丁目4番4号

フリガナ 氏名(名称) (227) 住友軽金属工業株式会社

代表者 小川 義男

4. 代 理 人

住 所 名古屋市中区錦二丁目9番27号  
名古屋繊維ビル8階

氏 名 (8250) 弁理士 足 立 勉

5. 補正命令の日付 昭和55年10月21日(発送日)

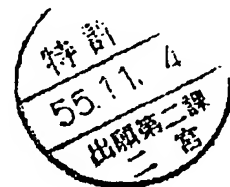
~~6. 補正により増加する発明の数~~

6. 補 正 の 対 象

願 書

7. 補 正 の 内 容

別紙の通り



34116-7



(4,000円)

## 実用新案登録願

昭和55年8月4日

特許庁長官 川原能雄 殿

1. 考案の名称

ケーブル保護カバー

2. 考案者

名古屋市港区千年三丁目1番12号

住友軽金属工業株式会社内

氏名 中村 授 (ほか1名)

3. 実用新案登録出願人

住所 東京都千代田区丸の内一丁目4番4号

氏名(名称) (227) 住友軽金属工業株式会社

代表者 小川 義男

(国籍)

4. 代理人 〒460

住所 名古屋市千代田区錦三丁目9番27号

名古屋繊維ビル8階

氏名 (8250) 井理士 足立 勉

5. 添付書類の目録

(1) 明細書 1通

(3) 願書副本 1通

(2) 図面 1通

(4) 委任状 1通

15+

6. 前記以外の考案者

住 所 名古屋市港区<sup>ミナトナカ</sup>千年三丁目1番12号  
<sup>スミトモケイキンゾクコウギョウ</sup>  
住友軽金属工業株式会社内  
氏 名 ナン バ ケイ ソウ  
難 波 圭 三

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☒ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☒ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☒ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**